

# おきたま 社会教育情報

Vol.167 令和6年8月号

学校と地域が win-win の関係になることを目指して

## 令和6年度地域とともにある学校づくり研修会

(兼)社会教育主事有資格教員等研修会

(兼)公民館・コミュニティセンター・社会教育関係職員等研修会

8月6日(火)、飯豊町町民総合センターあ～すにおいて、令和6年度地域とともにある学校づくり研修会を開催しました。今年度は、大阪市立大空小学校初代校長の木村泰子氏を講師に迎え、「地域とともにある学校づくり～みんなの学校の実践より～」というテーマで講演いただきました。木村先生のお話を直接伺えるまたとない機会であったことから、教職員を中心に160名を超える方に参加いただいたところです。

講演では、地域学校協働活動が始まる前から、地域住民の参画を得て学校づくりをされてこられた実践について、具体的にお話しいただきました。

「地域とともにある学校づくりは、地域と学校が対等な立場、同じ目線で行うこと」や「地域住民は土、教職員は風。土も風もすべての人が当事者になる、人のせいにしない学校づくりが大切であること」、「教員一人だけで子どもを守るのではなく、全ての大人で子どもを守っていくこと」など、様々な示唆をいただきました。



参加者からは、「今のコミュニティ・スクールは支援の要素がまだ強いと感じていましたが、win-winのつながりについて今回の学びを実践でも活かしていけたらと思います。」や「教員だから全部自分でやらなければいけないという思い上がりをやめて、全ての大人で子どもを守っていけるよう、自分から周りに働きかける方法を考えていきます。」といった感想が寄せられました。

研修会に参加したすべての立場の方にとって、自分事として「地域とともにある学校」について考えるよい時間にする事ができたようです。

次年度も、学校職員、推進員・コーディネーター、地域住民、行政職員それぞれの立場の皆さんで「地域とともにある学校」について、一緒に考えられる研修会を企画しますので、ぜひご参加いただけますと幸いです。

また、置賜教育事務所では、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の進め方、熟議の体験等について、出前講座を実施しています。学校や各市町教育委員会等の研修会へ社会教育主事をご説明に伺います。詳しくは置賜教育事務所社会教育課(☎0238-88-8242)までお問い合わせください。

# 置賜地区中高生ボランティアセミナー



8月8日(木)に飯豊少年自然の家を主会場に、標記セミナーを開催しました。今年度は、管内の6つの中学校より10名、2つの高等学校から4名、計14名の生徒の皆さんに参加いただきました。

午前は、「ボランティア活動について」の講話とアイスブレイクの後、2名の講師よりボランティアのスキルアップを図る研修をしていただきました。



午後は、飯豊町のいいで中部学童クラブを訪

問して、午前の研修で身に付けたスキルを活用して、学童クラブの小学生と交流を行いました。「小学生の皆さんが、とても楽しそうに遊んでくれて嬉しかったです。」「どう言葉をかけたら簡単にできるか、どうしたらもっと楽しくできるか、どうしたら喜んでもらえるかなど、相手のことを考えて行動でき、一番自分が成長した部分でした。」「もっと多くの人がボランティアに参加してもらえるよう、私たちが呼びかけたいと思いました。」といった感想が寄せられました。参加した生徒の皆さん一人ひとりにとって、学びの多い1日となったようです。次年度も多くの中高生の皆さんの参加をお待ちしております!



## 親子で楽しもう♪ 星空絵本

7月13日(土)に飯豊町中部地区公民館にて、子どもの読書活動推進講座「親子で楽しもう♪ 星空絵本」を開催しました。読み聞かせボランティア『あ〜すまいる〜ず』さん(代表:手塚 娃子氏)、『いいで天文台天文研究会☆ペルセ』の手塚 秀幸氏を講師に迎え、心温まる時間を過ごすことができました。真っ暗な会場の中、初めは緊張気味だった子どもたちも、読み聞かせが始まったと同時に絵本の世界にぐっと引き込まれていきました。絵本を読むスピードや強弱、間の取り方など子どもたちを惹きつける技術、子どもたちに



問いかけながら一緒に本を読み進めていく雰囲気づくりなど多くのことを学ばせていただきました。また、夏の星空解説では、自身で撮影した星空写真を取り入れたスライドで解説をしたり、モニターの前に子どもたちを並ばせ、星空に触れる場を設定したりするなど、子どもたちの興味関心を高める工夫がたくさんありました。

「色々な読み聞かせを聞くことで、表現の仕方が色々で楽しいなあと感じた。」「初めて参加しました。山形でも星空観察をしてみたいと思いました。」「親子一緒に読み聞かせを聞くことがなかったので、参加してよかった。」など、保護者の方々からも大変励みになる感想をいただきました。

今後も、家庭・地域・学校等社会全体を通して多様な読書の考え方やあり方の普及・推進を図ってまいります。

なお、9月17日(火)には「知的・発達障がいの理解啓発・疑似体験」というテーマで、第2回家庭教育支援フォーラムを開催いたします。こちらの方も、ぜひたくさんの方にご参加いただければと思います。



→ コードを読み取っていただくと、山形県のHP上で本紙のデジタル版とバックナンバーがご覧いただけます。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 TEL 0238(88)8242】